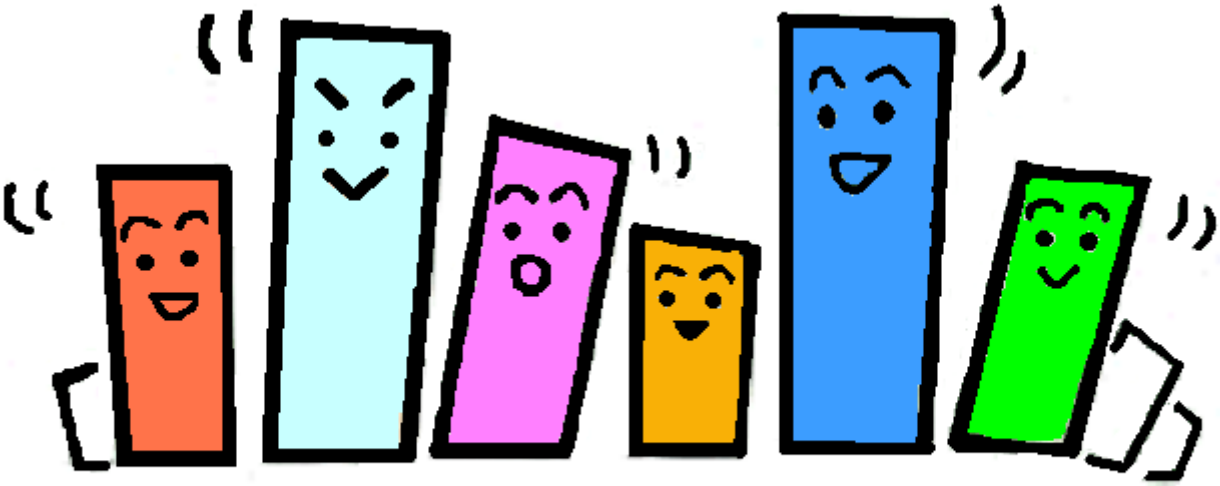
平成１９年度

入間市生涯学習をすすめる市民の会

活動報告書



目　　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

１、活動目標と事業内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２、各部会・担当の活動内容とまとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
・　情報部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
・　講座部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
・　広報部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
・　生涯学習フェスティバル担当・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
・　調査研究部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
・　付表－１　市民の会活動概要一覧・・・・・・・・・・・・・・・　１６
・　付表－２　市民の会活動と市の生涯学習推進計画（第２次）
施策体系との対応一覧・・・・・・・・・・・・・・・　１８
おわりに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

＜資料＞
・収支決算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
・会議及び作業一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

市民の会とは、
市の生涯学習を推進する市民ボランティアであり、市民の生涯学習に関しての市民と行政とのパイプ役です。市の生涯学習推進計画に沿って、市とともに生涯学習の推進に取り組んでおり、生涯学習情報の収集・提供、生涯学習フェスティバル等の事業も企画、立案・実施しています。

＊＊＊入間市生涯学習をすすめる市民の会 平成１９年度活動のまとめ＊＊＊

は じ め に

平成 19 年度における入間市生涯学習をすすめる市民の会の取組みは、当会に求められている市民と行政のパイプ役としての役割をより充実させるとともに、「いるま生涯学習プラン２１」で策定されている生涯学習によるまちづくり計画をより推進させるべく、行政とも密接な連携体制を図りながら各施策に沿った幅広い活動を展開いたしました。

取組みについては、活動の全てについて目標とした成果に結びつけることはできませんでしたが、総じてはほぼ所期の目標を達成することができたのではないかと考えております。

本書は 19 年度における活動をまとめたもので、具体的な取組みやそのまとめの詳細などについては以下の通りです。

１．活動目標と事業内容

＜情報部会＞

＊活動目標　◎　生涯学習に関する情報の収集と市民への提供

＊事業内容　○「学びの場」の発行と内容の充実

○　掲示板の有効利用（利用促進と活用面より設置数や設置箇所の再検討）

○　公民館における生涯学習活動の支援（公民館との連携体制の構築）

○「相談窓口づくり」へ向けた環境整備と早期実現のための取組み推進

○　市民の学習活動支援としてのボランティアリストの充実

○　市民との情報交流を含めた生涯学習に関わるより広範な情報の収集と提供のための取組み推進

＜講座部会＞

＊活動目標　◎　市民への学習・文化活動機会の提供と生涯学習を通してまちづくり（市民活動）に関わっていける人の発掘

＊事業内容　○　まちづくりへつながる市民のための学習講座の開催⇒市民のいるま塾を開講

○　講座から生まれた「まちづくり（市民活動）に関わるグループ」のネットワークの構築と活動への支援

○　生涯学習・文化活動に関わる講演会の開催

＜広報部会＞

＊活動目標　◎　市民の会活動の市民への広報

＊事業内容　○　エフエム茶笛による広報は継続　⇒　宣伝媒体としてより充実し、かつ効果的なものとなるように工夫する

○　市民の会会報の発行　⇒　内容の充実を図りながら継続的に発行
○　新しいホームページの作成⇒　メンテナンスしやすいホームページにするとともに、市民の会活動の詳細が市民にわかりやすく、かつタイミングよく伝わるようなものを作成する
○　生涯学習フェスティバルにおける市民の会の展示物の企画と作成
○　市民との情報交流とあらゆる機会を利用しての広報への不断の取組み

＜調査・研究部会＞

＊活動目標　◎　生涯学習に関する幅広い調査・研究ならびに視察研修
◎　生涯学習を通じたまちづくり推進のための企業･諸団体と地域社会との連携体制に関する調査・研究

＊事業内容　○　生涯学習に関する会員の知識向上のための勉強会・研修会の実施
○　他市取組み状況の視察（市民のまちづくりにつながる多様な生涯学習を推進している市への視察）
○　ＩＴ技術研修の実施（ＰＣ・パワーポイント技術の習得と向上）
○　生涯学習に関わる調査研修等のまとめと入間市活動への活用と反映方法の検討
○　生涯学習を通じたまちづくり推進のための企業･諸団体と地域社会との連携体制構築へ向けての取組み方針と課題の整理

＜生涯学習フェスティバル担当＞

＊活動目標　◎　行政との協働による生涯学習フェスティバルの開催

＊事業内容　○　生涯学習フェスティバル実行委員会への参画と、当該実行委員会を通じた生涯学習フェスティバルの企画運営に関する市民の会としての意見反映
○　生涯学習フェスティバル運営に関する市民の会としての方針の立案

２、各部会・担当の活動内容とまとめ

情 報 部 会

部会長：関谷敦子
大坪　功　多田外志　室山茂子　山増智子

部会の目標　① 平成 19 年度いるま学びの場発行
② 学びの場の情報収集
③ 掲示板の有効活用推進、維持管理
④ 生涯学習相談窓口の設置検討
⑤ 市民講師情報収集への準備

⑥ より広範な情報の収集と提供

活動実績　① 平成 19 年度いるま学びの場発行

情報件数約 1,600 件のものを 700 冊（100 部増）

公的施設、病院、郵便局、銀行などに閲覧用として配布・常置

② 学びの場の情報収集

③ 掲示板の有効活用推進、維持管理

掲示板設置案内図を学びの場に掲載（下記の地図参照）

掲示板の活用方法を学びの場に紹介

藤沢駅前への設置検討・状況調査・さくら公園の掲示板、修理

④ 生涯学習相談窓口の設置検討

他市の生涯学習相談窓口の設置状況調査、研究

公民館との交流会・情報交換会

⑤ 市民の講師情報収集への準備

講師登録リスト書式作成・配布

掲 示 板 の 地 図

①富士見公園入口

入間市東町1－16

②入間市駅前プラザ内

入間市向陽台1－160－12

③新しきを知る公園（第二公園）

入間市豊岡１丁目－1

④文化創造アトリエ交差点角

入間市大字仏子764番地

⑤さくら公園
入間市下藤沢323

⑥JR 金子駅前駐輪
入間市南峯407

現在、掲示板は上記地図内に下記の写真の作品です。

＊掲示板は生涯学習活動（サークル、教室）の作品を取り入れた手作りでどれもすばらしいものです。（市内 6 基）

①富士見公園入口（東町１丁目）
〔風景画〕

②入間市駅前プラザ内(向陽台広場)
〔トールペイント〕

③新しきを知る公園（豊岡１丁目）
〔陶芸〕

④文化創造アトリエ交差点角（仏子）
〔子どもたちの絵〕

⑤さくら公園（下藤沢）
〔組み木〕

⑥金子前公園（南峯）
〔ステンドグラス〕

活動の総括

今年度は、例年の活動に加え、生涯学習推進のための生涯学習相談窓口設置について検討し、新たに設置するのではなく、公民館を始めとした市の施設と連携していく方向性とした。

「学びの場」の情報を提供するだけでなく、市民講師（学びを活かせる場）の情報を収集する準備にとりかかった。「より多くの情報」を集め、市民に効果的に提供するため、提供方法・形態及び活用方法を来年度以降も検討していく。

講　座　部　会

部会長　鈴木政昭

飯島　守　下間則武　下野武司　多田外志　仲島直広　人見友章

◇部会の目標

☆　市民への学習・文化活動の機会の提供と生涯学習を通してまちづくり（市民活動）に関わっていける人の発掘

◇活動実績

1.市民講座「市民のいるま塾」の開催

☆「市民のいるま塾」の概要

平成15年から“市民のいるま塾”として、毎年下記のように開催。

＊第１回（平成15年）「充実した中高年の生きがい作り」
～生涯現役ってなんだろう？長寿社会の生きがい探し～

＊第２回（平成16年）「子育て支援実践講座」
～地域ぐるみの子育てを目指して～

＊第３回（平成17年）「見直そうくらしと経済」
～目からウロコが落ちる活きたお金の使い方～

＊第４回（平成18年）「50代から考える活き活き人生創造講座」
～シニアの時代をより豊にするための新たな生き方探し～

☆「第５回　市民のいるま塾」取組みと活動のまとめ

第５回市民のいるま塾”は部会の目標である「まちづくりに関わっていける人の発掘」が市民講座を通してできるかを検討し、新たに募集した市民ボランティア各講師による、それぞれの分野での知識・経験を通しての講座の中でお互いに学びあうことを全８回（11講座）に渡って実施しました。

各講師の経験や知識にもとづく内容は好評であり、中でも実験や実習の場面では歓声があがるほどでした。

全11講座の総受講生数は120名、男性59名　女性61名と男女比でほぼ均衡。年齢層では60代が53%、70代が33%と約９割を占めていました。さらに６回以上受講された13名の方には市民の会より修了証等をお渡しいたしました。

今年度講座をとおして市民ボランティア講師（11名）を発掘でき「まちづくりに関わる人の発掘」にとりかかることができたと思います。今後は講師の活用を含め、この市民ボランティア講師の発掘をさらに進めていきたいと考えています。

また、アンケートにより戴いた貴重なご意見や声を今後の講座部会の活動の参考にさせていただきます。

参加者・講師の皆さんほか関係者方々の多大なご協力・ご支援により「第５回市民のいるま塾」終了することができました。改めて厚く感謝申し上げます。

＜第５回（平成19年度）“市民のいるま塾”講座日程と内容の概要＞

今年度は市民の皆さんの中よりボランティア講師をお願いしてそれぞれの知識と経験を基にしたテーマ・内容の講座でした。

第１回目　平成 19 年 12 月 8 日（土）　13:30～15:00　健康福祉センター
　テーマ：「平家物語」成立と作者及び構成　　講師：吉本　高雄
　内容：平家物語とは　語りと歴史の文学
　感想：受講生 30 名。軍記でありながら涙無くしては語れない文学をしりました。

第二回目　平成 19 年 12 月 15 日（土）13:30～15:00　健康福祉センター
　テーマ：楽しく学ぶ科学実験　　講師：斉藤　次雄
　内　容：１）スライム作り　２）プラスチックの見分け方
　感　想：受講生 18 名。実験ではまるで受講生全員が科学者のようでした。

第三回目　平成 20 年 1 月 16 日（水）　19:00～20:30　産業文化センター
　テーマ：尺八を通しての仲間作り　　講師：浅見　祐作
　内　容：自分で作った尺八を演奏する楽しみ
　感　想：受講生 23 名。まさか 90 分の間で音が出せるとは思いませんでした。

第四回目－１　平成 20 年 1 月 19 日（土）13:30～15:00　産業文化センター
　テーマ：　入間で起業してみました　　講師：山本　理明
　内　容：　事業立ち上げのキッカケとアドバイス
　感　想:　受講生 20 名。起業はそのチャンスと人脈によるところが大きいようです。

第四回目―２　平成 20 年 1 月 19 日（土）15:15～16:40　産業文化センター
　テーマ：ハワイ史を学ぼう　　講師：山村　尭
　内　容：ハワイの歴史・文化について
　感　想：受講生２０名。移民労働団の苦労と日系二世の苦しみをしりました。

第五回目―１　平成 20 年 1 月 26 日（土）　13:30～15:00　博物館講座室
　テーマ：私のボランティア体験　　講師：永石　珠江
　内　容：腹話術を通じて垣間見た小さな世界
　感　想：受講生 23 名。人形と一緒に各施設への慰問等から見た世界を知りました。

第五回目―２　平成 20 年 1 月 26 日（土）　15:15～16:40　博物館講座室
　テーマ：キーボードに出会えてよかった　　講師：冨田　智子
　内　容：キーボードを通して喜びと元気　生きがいを伝えたい
　感　想：受講生 22 名。キーボードに触れる楽しさを知りました。

第六回目―１　平成 20 年 2 月 9 日（土）　13:30～15:00　　中央公民館

テーマ：地球温暖化からゴミ問題まで　　講師：北山　素純

内　容：酸性雨・環境ホルモン・ダイオキシンなどによる人体への影響

感　想：受講生 11 名。子供や妊婦に与える影響の大きさを考えさせられました。

授与式：６回以上受講された方５名に修了証と粗品を差し上げました。

第六回目―２　平成 20 年 2 月 9 日（土）　15:15～16:40　　中央公民館

テーマ：私の健康法　　講師：松崎　端

内　容：体の仕組みと健康を学ぼう

感　想：受講生 13 名。健康のために朝起きる前に出来る簡単準備運動と呼吸法を毎日続ける大切さ。

第七回目　平成 20 年 2 月 16 日（土）　13:30～15:00　　アミーゴ

テーマ：お茶の葉の不思議　　講師：吉田　正男

内　容：草木染めの体験を通しの仲間作り

感　想：受講生 24 名。自分だけのオリジナルデザインが出来る喜びを知りました。

授与式：６回以上受講された方４名に修了証と粗品を差し上げました。

第八回目　平成 20 年 2 月 20 日（水）　19:00～20:30　産業文化センター

テーマ：大人の為の星空入門　　講師：平野　都子

内　容：初歩的な星や星座　天文学知識を学ぼう
講座の後で外に出て望遠鏡を使って星座の観察をしました。

感　想：受講生 23 名。土星の美しさ、これから夜空を見るのが楽しくなりました。

授与式：６回以上受講された方３名に修了証と粗品を差し上げました。

２. 生涯学習・文化活動に関わる講演会の開催

平成 20 年 3 月 1 日（土）14:00～16:00　入間市博物館　講座室

演題：ホンダのＤＮＡ　～モノつくりへの挑戦～

～本当に必要なことは、知、知恵そしてイノベーション～

講師：小林　三郎氏（63 歳）2 年前に現役引退　現在一ツ橋大学客員教授

（後援：入間市商工会、入間青年会議所）

参加者数 101 名、世代を超えて男性、女性が多く集まってくれました。

講演の内容については分かりやすい、同様な講座を希望するというのが多くあった。

講演を知ったのは、友人・知人が 32%、市報が 24%、新聞等が 18%、チラシが 15%、商工会が 7%、青年会議所からが 4%でした。

参考になったところ

実体験の話が聞けたのがよかったし何事にも目的をもつ大切さを知りました。とてもユニークな会社で本当に必要なのは情報より‘知恵’。熱気と継続、チャレンジ、あきらめないところ。人生の生き方　考え方　大変勉強になりました。など他にも多数のご意見もありました。

もっと聞きたかったこと

環境にやさしいエンジンの開発について。もっと技術的なこと。マネージメント（人を育てる方向を見抜く力）やもっと裏のエピソードが知りたいなど多数あり。

まとめ

エアバッグ開発実体験のよる久しぶりに有意義な講座を聞きました。

モノづくりだけではなく人間関係の大切さを学びました。

広報部会

部会長　岡崎幸子

大坪 功、栗原正明、幸森康夫、田中伸一、室山茂子、諸井和江

＊部会の目標　市民の会活動の市民への広報

＊活動実績　①市民に向けての会報を作成中、市民の会の活動をもっと知っていただくために、内容を検討。300 部予定。市内の施設に配布する予定。

②ホームページは従来のものを改良した。またブログを立ち上げホームページとのリンクをし、相互の利用度を高めた。

③生涯学習フェスティバルにおいてパワーポイントを用いて、市民の会のＰＲを行った。

④エフエム茶笛への紹介も生涯学習推進を目標に、環境問題など、問題意識をもって地道に取り組んでいる方など幅広い視野で情報を提供し、「とれたてラジオ」「きままにティータイム」等の番組に出演者を紹介（推薦）した。

※　１９年度「とれたてラジオ」番組紹介出演者

和田有広さん（入間川川端文化ネットワーク）
大山　博さん（加治丘陵管理グループ　　）
本田　進さん（ゴミ部会　　）
木内勝司さん（環境まちづくり会議　　）
工藤雅彦さん（ヤマガラくらぶ　　）
土方幹夫さん（駿河台大学　　）

＊今年の評価

掲げた事業内容をクリア。ブログを立ち上げて、広報活動に楽しいものが加わわった。

＊今後の課題

19 年度に取り組んだホームページ, パワーポイント、広報紙にさらに充実を図る。

生涯学習フェスティバル担当

部会長：山増智子

岡崎幸子、岡野こずえ、岡野　亘、小暮欽作、斎藤次雄、下間則武、
鈴木政昭、関谷敦子、多田外志、人見友章、諸井和江

部会の目標：市民の生涯学習活動の参加への促進と学習成果の発表を行い、市民と行政が協働によるまちづくりをめざす。

第 13 回生涯学習フェスティバルのテーマ

『きっかけ』

みつけよう！あなたの生涯学習

活動実績

おもな企画	内　容
森永卓郎講演会	お金のいらない豊かなくらし…についての講演 観客動員約 350 名
まちづくりワークショップ	・市民と行政が一緒にまちづくりを進めるための道しるべ…協働ガイドライン ・　みつけよう！実年世代の地域参加 5 団体参加
参加団体発表・体験	・　各団体の活動紹介や体験形式で参加しやすく工夫をしている　53 団体参加
大学と地域の連携	・　入間市周辺 7 大学の社会人のための学習機会 7 大学参加

今回のテーマである「きっかけ」をキーワードに各企画に盛り込み、フェスティバル参加に生涯学習を促進した。そして各分野でネットワークを組み、新たな課題を見つけ、いろいろな視点から解決策を試行錯誤しながら、市民と行政によるまちづくりを考える機会になった。

同時に埼玉県の芸術文化ふれあい体験ワークショップを開催し、入間市からは入間市音楽家協会、入間市茶道連盟の参加運営のもと大盛況だった。

今後の課題

内容が、一日で開催するのに盛りだくさん過ぎてもったいない、わかりやすく生涯学習を周知するにはどうしたらよいか？13 年経ってもなかなか浸透していかないが、フェスティバルで市民にアピールするのは有効だと考える。また、フェスティバルで生まれたネットワーク等を応援していくシステムを行政と共に考えていく。

第 13 回「生涯学習フェスティバル」オープニング

超満員の講演会

生涯学習を体験！

最高潮に達し、名残惜しいフィナーレ

調査・研究部会

部会長：斎藤次雄

岡崎幸子、栗原正明、幸森康夫、田中伸一、中台建二、諸井和江、渡部直也

前年度の「学校と地域の連携部会」および「視察･研修担当」を統合し、新たに発足した部会である。学校や地域と市民の会との連携事業が必ずしも充分に進まなかった反省もふまえ、市民の会の役割とできることについて改めて調査や研究から進めるとしたものである。そのために自らのレベルアップも必要であり、他市の視察研修や委員同士の学びあい（内部研修）の事業がこの部会に組み込まれた。

スローガン：自らのレベルアップと楽しさアップ

調査･研究部会の事業を下表の４つの項目に分けそれぞれ主担当を決め活動した。

	主担当	事　業
調査	渡部、田中、岡崎	大学･企業･公民館との連携の可能性調査など
研究	中台、渡部	「狭山市生涯学習をすすめる市民の会」との交歓等による当市民の会の可能性研究
内部研修	幸森、栗原	ホームページ作成ソフトあるいはブログの作成技術の習得
視察研修	岡崎、諸井、斎藤	先進市の生涯学習の取組み方や実施状況を視察し研修する。

事業内容と課題

１．入間市民の情報学習に関する調査

目的：情報力を向上したいと願う市民に、より多くの情報を提供するために、ＰＣサークル／ＰＣ教室を対象として現状を調査

調査方式：アンケートによるヒアリング、資料の入手

調査結果：現在まで調べた情報学習の場

ＩＴ講習（入間市）	14 公民館	500 名
パソコンサークル	7 団体	200 名
パソコン教室	11 教室	300 名

全体の考察：

①市民全体で 1000 名近くが、市内で、情報学習を行ってきている。

②その内約半数が、6 年前から市が実施しているＩＴ講習の受講者となっている。

③パソコンサークルは数が少なく、会場スペース及び指導者数の関係で、受講者の拡大は難しい。また、市内でも、地域による差が大きい。

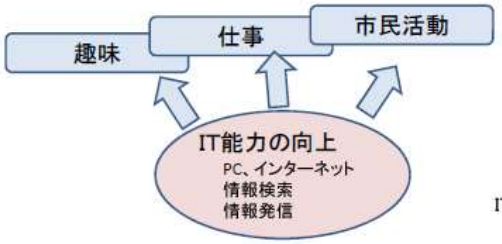
④パソコン教室は､個人経営型と系列型があり､各々特徴を持っており､受講者の選択余地が広い。

これらの調査結果をまとめ、第１３回生涯学習フェスティバルで大略以下のように報告した。

－調査報告内容の抜粋－

調査のねらい

- IT能力は、仕事･趣味･市民活動の重要な要素
- 市民はどのようにIT学習を行っているか？



IT：情報技術

パソコン教室の状況

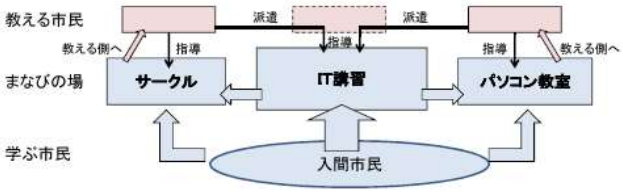
経営	個人経営	系列店
教室数	6（減少傾向）	5（増加傾向）
会員数	10～20名程度	数10～100名
指導者	1～2名程度	5～6名程度
特　徴	・自宅や自事業所で開設 ・受講者が減少気味 ・一人一人に応じた指導 ・会員募集は控え目 （指導者の教えられる範囲）	・駅やｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞ街近傍で教室 ・学習テキストやビデオによる個人対応 ・積極的な広告募集
その他	・入会金：　2,000～3,000円 ・時間料金：　750～2,450円	・入会金：　0～10,500円 ・時間料金：1,333～3,000円 ・その他：　テキスト代など

パソコンサークルの状況

	内 容	備 考
サークル数	7	
開催場所	主に公民館	他に駿大ふれあいハウス
会員数	10～70名程度	
指導者数	1～5名程度	指導者なしもある
特 徴	・各自がノートPCを持ち寄る ・公民館活動室の広さで20名程度 ・指導者が教えられる人数ネック ・和気あいあい型が多い	公民館の片寄りが大きい 東藤沢（4サークル） 藤沢（1サークル） 東町（1サークル）
その他	・月謝： 500～2,000円 （主に実費と講師謝礼など）	

まとめ：市民とまなびの場

- 1,000名程度の市民がIT学習に参画、その内半数は市主催のIT講習
- IT講習はIT学習の**きっかけ**、その後にパソコン教室やサークルへ
- パソコン教室は、系列店が伸びている反面、個人経営は減少方向
- 公民館のパソコンサークルは、指導者の制約から受入数を多く出来ない
- 学んだ市民の中から、指導する側に移行する市民もあり



［課題］

もっとパソコンについて勉強したい、もっとゆっくりと学びたいとの声が大きいが、ＩＴ学びの場に入間市内で地域格差がある。公民館との連携を強め、学びたい人がいつでも学べる「新たなＩＴ学習の場つくり」が求められる。

２.「狭山市生涯学習をすすめる市民の会」との交流

8 月 24 日狭山市立入間川小学校にて交流会を開催。

出席者数：狭山市側会員 12 名、市職員 2 名、入間市側委員、職員数も同数。

気付き点：狭山市側は発足後 2 年で、当方は 1 日の長あるも、お互いに得るところがあった。近隣で、名称も同じ団体なのに、会のあり方・行政との距離感・運営形態がずいぶん異なることがわかった。市からの事業委託を受けて主な事業費を捻出しており、独立性が強い印象を受けた。学びの場をデータベース化しているが、一般の人が使えるものにはなっていないとのこと。狭山生涯学習市民の会の会員には「狭山市の高齢社会を考える会」が市から受託し運営しているＳＳＣＣ（狭山シニア・コミュニティ・カレッジ）の同窓生が多く、活動範囲を絞っている感じがした。

［課題］
狭山市ではたくさんのパソコンサークルが育っており、交流を通じてノウハウを学びたい。今回行われた狭山市の市民の会との交流を定例化してお互いのよい点を勉強しあったほうがよいとの意見があり、検討課題とする。

３．平成１９年度彩の国生涯学習振興大会への参加

日　時	平成 19 年 9 月 7 日(金) 13:30～16:00	報告者	斎藤次雄
参加者	多田、人見、仲島、斎藤（事務局）加藤、浅川		
会　場	桶川市桶川市民ホール　　桶川市若宮１丁目５番９号　　℡ 048-789-1113		
主　催	埼玉県生涯学習推進会議、埼玉県、埼玉県教育委員会、桶川市、桶川市教育委員会		
テーマ	「生涯学習による日本一のふるさとづくり」　ふれあい　学びあい　高めあい		
内　容	・総合司会：和田 梓　桶川市在住　津田塾大学生 ・あいさつ：埼玉県市町村支援部長 小柳 光春 氏 学校教育に対する埼玉県の３つの達成目標は成果を挙げつつある。生涯学習は、個人が好きに学ぶことに加えて、社会にとって必要なことを学ぶものでありたい。親の学習の推進が必要。 桶川市教育委員会教育長 森 連 氏 市町村の生涯学習の振興と「生涯学習を通じて社会にはたらきかけていく」という課題の実践者の方々をシンポジストにお迎えした。 ・シンポジウム： コーディネーター 安藤正徳氏　→　シンポジストはＮＰＯやボランティア、子育て支援者として活躍する実践者。実績を上げている方々に学びたい。 カオル幼稚園長　上松久子氏　→　群れ遊びの実践、指示･命令･禁止語を使わず自主性を育てる 熊谷こどもを朝食で元気にする会　新井千鶴子氏　→　子どもにとって朝食の重要性を訴え続け、作りやすく食べやすいレシピ集発行 加須南小地域おやじの会 佐藤英男氏　→　ＰＴＡの親だけでなく、学校の一室を開放するなど、地域の父親たちの学校参加を推進 NPO 法人ファザリングジャパン安藤哲也氏　→　父親の「家庭サービス」という言い方はだめ、母親と同量の責任で子に笑顔で接する ・生涯学習実践団体実践発表：　箏曲、コーラス		
所　感	シンポジストは皆さん実績を踏まえたすばらしい提言をしていた。また、議論の中で様々な意見があり、考えさせられる部分もあった。		

４．生涯学習桐生市民の会の視察研修
日時：平成 20 年 1 月 22 日（火）13:30～16:30
研修先：生涯学習桐生市民の会（群馬県桐生市）
参加者：（市民の会）多田、斎藤、山増、岡崎、岡野（こ）、栗原、幸森、下間、鈴木、関谷、田中、仲島、人見、室山、渡部　（事務局）黒木、加藤、浅川

当日午前８時半予定通り出発し、現地に向かう途中で、研修担当の斎藤部会長より桐生市に関するレクチャーがありました。平成の大合併により市が二分されたことなど、初めて知らされた各委員からは驚きの声が上がりました。「織物の町桐生市」の歴史的背景に関する説明は、これからの研修にとって貴重な予備知識になりました。
最初の訪問先は、織物博物館「紫」（ゆかり）でした。さすがに長い伝統を感じさせる展示品ばかりで、興味深いものを拝見することができました。担当の女性の説明もわかりやすくまた親切なものでした。ほとんどの委員にとって初めて見る織物機械でしたが、多くの質問が飛び出し桐生市における織物の歴史に触れることができました。最後に「藍染め」の実演を見せていただきましたが、予定の１時間をはるかにこえる充実したものになりました。
昼食休憩後、早速桐生市役所に到着、先方の市民の会や生涯学習課の方たちに出迎えていただき、研修となりました。まず活動の様子をパワーポイントを用いて紹介した後、市民の会の丹羽会長、大里副会長、荒川生涯学習課長などにより、「平成 18 年度記録」をもとに詳細な説明をいただきました。
中でも市内各地区に生涯学習推進委員をおき、公民館を拠点として地域に根ざした活動を推進していることや、これらの活動を連携するのが「生涯学習推進委員連絡会議」であること、そのほかに「夢を実現するための活動委員会」、「ジュニアプレス委員会」、「学習目標の実践を考える委員会」などがあり、これらを常任委員会がすべて統括しています。このような組織になるまでの苦労は大変であったとの話でありましたが、統一感が感じられ、市全体が一体となって生涯学習活動を推進されているとの印象を強く受けました。
また委員の方から何度も「子どもたちが桐生市を愛し、将来もここで暮らしたくなるような街づくり」という話があり、この理念が生涯学習活動全体に浸透し、一貫性のあるものにしていると思われました。
入間市生涯学習をすすめる市民の会も、このような観点から町づくりの一翼を担う活動が展開できればと改めて思いました。公民館活動と密接に連携をして生涯学習の更なる推進を目指す私たちとしては大いに参考になりました。
→「生涯学習桐生市民の会」は常任委員会を中心に７つの委員会が、それぞれの分野で自主的な活動を展開している。人数が多く、しっかりした組織ができており、公民館との連携も進んでいる。今回の視察研修は大変ためになった。来年度はもっと早期に実施したい。

５．内部研修
当初ホームページの作成技術研修を計画したが、ブログの方が更新等取り扱いで容易あるとの判断により、ブログ開設のための技術研修に変更した。「まちづくりサポートネット元気な入間」（以下、まちサポ）にブログ立上げに関する説明および実技講習を依頼し、駿大ふれあいハウスの協力を得て以下のように研修を実施した。
☆　ブログ講習
1）ブログ講習会実施日
① 平成 19 年 12 月 12 日(水)　19：00～20：30

② 平成 20 年 1 月 25 日（金） 19：00～20：30

③ 平成 20 年 1 月 30 日（水） 19：00～20：30

2）実施場所：駿大ふれあいハウス

3）研修内容

① ホームページとブログの違い、各課題、制約、注意点などを講義

② 受講生での試しの記事書き

③ 市民の会のブログ立上げ

4）受講者数：毎回 8～10 人

5）結果：受講者はブログの更新が出来るようになり、最終的には市民の会ホームページと市民の会ブログを連携させることができるようになった。また、入り口は市民の会ホームページの最初においた。

@駿大ふれあいハウス

内部研修として「入間市生涯学習を進める市民の会」のあり方、活動のすすめ方も計画したが、月例会の中でのやり取りにとどまり単独の研修日は取れなかった。

各部会・担当別事業内容と成果・課題を整理すると下表のようになる。

＜付表－１：市民の会活動概要一覧＞

部会等	事業内容	活動内容（実績）	次年度へ向けて
情報部会	「学びの場」発行	内容を充実して発刊。増刷によるより広範な PR	講師陣の掲載ほかより充実した情報誌へ
	掲示板の有効利用	数・場所等検討。当面現状での有効利用を図ると共にその利用を PR	より活用度を高めるための取組み推進
	公民館との連携体制	公民館との意見交換を通じた現状の把握と課題の整理	活動継続による取組み推進
	相談窓口づくりへの環境整備	フェスティバル他市民との交流の場を通じた相談体制に関する調査	課題整理へ向けた活動の継続
	ボランテイアリストの充実	内容を変更し「市民の講師」リストとしその作成準備	「市民の講師」リストを作成しその活用やPR等の検討
	広範な情報の収集と提供	他自治体の状況調査	必要な情報収集に関する体制の検討

部会等	事業内容	活動内容（実績）	次年度へ向けて
講座部会	市民講座の開講	市民のいるま塾”を８回（11 講座）実施	魅力あるテーマを検討し継続
	まちづくりに関わるグループのネットワーク構築と活動支援	具体的取組みについて協議	具体化へ向けて検討を継続
	講演会の開催	小林三郎氏（元本田技研工業・経営企画部長）を講師に講演会を開催	市民にとって有用なテーマを選定。引続き開催を図る
広報部会	エフエム茶笛による広報	継続して実施	より有効な工夫をこらし継続
	市民の会会報の発行	会報を作成、市民に配布	市民の会活動を広く知ってもらうものとして内容を検討
	新ホームページの作成	新たに作成したブログとのリンクも含め、現ＨＰを修正した。	更新を随時実施し、ブログとの相乗効果を計る。
	フェスティバルでの市民の会展示物作成	市民の会コーナーにて展示・PR	より効果的な展示法の検討
	プレゼンテーション資料の作成	作成。フェスティバルほか交流の場を通じて活用	様々な機会で活用
	あらゆる機会を利用した広報への取組み	様々な機会において市民の会ＰＲをした	必要な機会を見つけて積極的に活用
調査・研究部会	勉強会の実施	各自取組むほかに、定例会において適宜実施した。	必要に応じての実施
	他市取組み状況の視察	彩の国生涯学習振興大会視察及び桐生市を視察（生涯学習桐生市民の会との交流）	多様な生涯学習活動を推進している自治体への視察を継続
	ＩＴ技術研修	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ、ﾌﾞﾛｸﾞ研修を実施	必要に応じて実施
	研修のまとめと活動への活用と反映方法検討	研修結果としてブログが立ち上がった	研修結果をふまえ、活用について検討
	諸団体と地域社会との連携体制構築の取組み	市民の情報学習に関する調査（ＩＴ学習）を実施しﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙにて発表	引き続き取組みを継続
フェスティバル担当	生涯学習フェスティバル開催への取組み	第 13 回フェスティバルを行政と協働で開催・実行委員会に参画。市民の会の意見を反映	行政と協働で引続き実行委員会に参画し共催する。より充実した会合へ向けての市民の会としての検討
その他		ワーキングチーム会議へ参加	継続して参加する

さらに今年度の活動実績（成果）を第２次入間市生涯学習推進計画の施策体系に沿って整理すると以下のようになる。

＜付表－２：市民の会活動と市の生涯学習推進計画（第２次）施策体系との対応一覧＞

施策体系	市民の会活動内容
1.　まちづくりにつながる学習機会の充実	・第５回市民のいるま塾を８回（11 講座）に亘って開講 ・文化講演会の開催
2.　学習効果の地域社会への活用	・第 13 回生涯学習フェスティバルの開催 ・ワーキングチーム会議への参加
3.　生涯学習情報と相談体制の充実	・生涯学習情報誌“平成 19 年度版 学びの場”の発刊 ・ボランテイアリストの充実 ・公民館との連携体制へ向けた取組みの推進
4.　生涯学習の普及・推進	・第 13 回生涯学習フェスティバルの開催（再掲） ・エフエム茶笛による広報 ・市民の会会報の発行 ・ホームページ及びブログによる活動状況の迅速な広報 ・市民の会活動紹介のためのプレゼンテーション用資料作成 ・生涯学習掲示板による市民の生涯学習取組みへの支援 ・各種研修や視察活動

２）おわりに

“いるま生涯学習プラン２１”は「生涯学習都市いるま」の実現をその目標とするとともに、取り組むべき重点施策を１．まちづくりの担い手となる人づくり　２．市民活動の促進につながる環境づくり　３．市民と行政の協働の仕組みづくり　と定めて、目標にむけての多様な推進計画を策定しています。

わたしたち市民の会は、生涯学習によるまちづくり～すべての市民が学びあうことによって互いに認め合い、交流や実践活動を通して活力あるまちづくり～を目指すこの推進計画に沿って、幅広い取り組みを行ってきました。

冒頭にも記したように、活動の全てについて目標とした成果を得ることは出来ませんでしたが、ほぼ所定の目標を達成することができたと考えられることから、着実な前進を図ることができたと判断しております。取り組みに至らなかったものや具体的成果に結びつけることができなかったもの、或いは活動を通じて明らかになった諸問題などについては次年度活動で取り組み、新たな一歩へつなげていく所存であります。

市民の会活動への市民のみなさんや各種市民団体、行政の多大なご協力、ご支援に対し厚く感謝申し上げ平成１９年度活動のまとめと致します。

入間市生涯学習をすすめる市民の会委員

平成１９年４月１日現在

飯島（いいじま）　守（まもる）	鈴木（すずき）　政昭（まさあき）
大坪（おおつぼ）　功（いさお）	関谷（せきや）　敦子（あつこ）
岡崎（おかざき）　幸子（さちこ）	多田（ただ）　外志（そとし）
岡野（おかの）こずえ	田中（たなか）　伸一（しんいち）
岡野（おかの）　亘（わたる）	仲島（なかじま）　直広（なおひろ）
栗原（くりはら）　正明（まさあき）	中台（なかだい）　建二（けんじ）
幸森（こうもり）　康夫（やすお）	人見（ひとみ）　友章（ともあき）
小暮（こぐれ）　欽作（きんさく）	諸井（もろい）　和江（かずえ）
斎藤（さいとう）　次雄（つぎお）	室山（むろやま）　茂子（しげこ）
下間（しもつま）　則武（のりたけ）	山増（やまます）　智子（ともこ）
下野（しもの）　武司（たけし）	渡部（わたなべ）　直也（なおや）

問合せ先
〒　３５８－８５１１
　　入間市豊岡１－１６－１
　　入間市教育委員会　生涯学習課　生涯学習文化財担当
　　入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局
　　℡　０４－２９６４－１１１１　内線４１２３・４１２４